

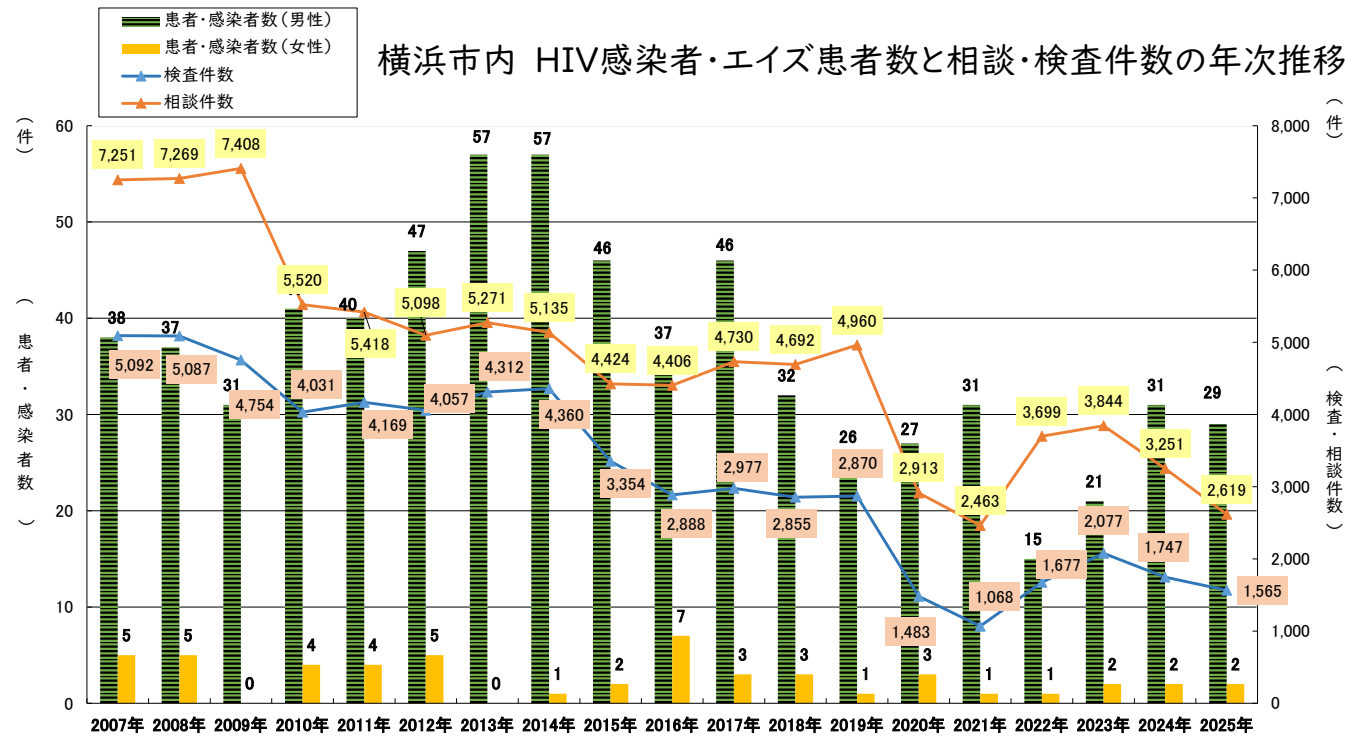
2025年 横浜市 HIV 感染者・エイズ患者、梅毒患者の動向

I HIV感染者・エイズ患者の報告数と相談・検査件数

2025年に本市に新たに報告された「HIV感染者」「エイズ患者」の報告数は合わせて**31件**であった。「HIV感染者」は**19件**(61.3%)でうち男性19件、女性0件、「エイズ患者」は**12件**(38.7%)で、うち男性10件、女性2件であった。

(注) 「HIV感染者」：HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているが、エイズを発症していない状態で報告されたもの
 「エイズ患者」：エイズと診断されて報告されたもの

2025年の本市のHIV検査・相談事業の実施総数は検査が**1,565件**、相談が**2,619件**であった。前年より検査は182件(前年比10.4%)、相談件数は632件(同19.4%)減少した。検査の実施設別にみると各区福祉保健センター**556件**(同35.5%)、夜間検査**422件**(27.0%)、土曜検査**436件**(27.9%)、日曜検査**151件**(9.6%)であった。(※)内は検査件数総数に占める割合
 前年と比較して、全体としては減少しているが、夜間検査は7件(同1.7%)、土曜検査は45件(11.5%)増加した。2025年の本市のHIV検査のうち、陽性者数は**10件**(陽性割合0.65%)であり、前年の9件(陽性割合0.5%)から増加した。陽性者数を実施施設別にみると各区福祉保健センター**5件**、夜間検査**1件**、土曜検査**2件**、日曜検査**2件**であった。



	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
新規報告数	43	42	31	45	44	52	57	58	48	44	49	35	27	30	32	16	23	33	31
(うちエイズ患者)	(17)	(11)	(6)	(14)	(10)	(18)	(12)	(16)	(19)	(13)	(15)	(13)	(11)	(11)	(11)	(5)	(6)	(11)	(12)
男性	38	37	31	41	40	47	57	57	46	37	46	32	26	27	31	15	21	31	29
(うちエイズ)	(15)	(8)	(6)	(12)	(10)	(16)	(12)	(15)	(18)	(11)	(15)	(11)	(11)	(11)	(11)	(5)	(6)	(10)	(10)
女性	5	5	0	4	4	5	0	1	2	7	3	3	1	3	1	1	2	2	2
(うちエイズ)	(2)	(3)	(0)	(2)	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(2)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)
相談数	7,251	7,269	7,408	5,520	5,418	5,098	5,271	5,135	4,424	4,406	4,730	4,692	4,960	2,913	2,463	3,699	3,844	3,251	2,619
検査数	5,092	5,087	4,754	4,031	4,169	4,057	4,312	4,360	3,354	2,888	2,977	2,855	2,870	1,483	1,068	1,677	2,077	1,747	1,565
屋間	1,787	1,637	1,380	818	786	723	746	729	667	644	763	809	763	431	262	445	936	777	556
夜間	942	1,145	1,146	1,165	1,596	1,635	1,806	1,847	1,237	974	1,124	1,113	1,150	460	353	650	567	415	422
土曜	2,363	1,966	1,598	1,475	1,254	1,136	1,155	1,176	975	818	746	699	704	430	322	451	415	391	436
日曜	—	339	630	573	533	563	605	608	475	452	344	234	253	162	131	131	159	164	151

2 新規報告されたHIV感染者・エイズ患者の状況

推定感染経路別にみた報告数は、性的接触（同性）が17件（54.8%）で最も多く、次いで性的接触（異性）が5件（16.1%）、性的接触（異性・同性）が1件（3.2%）、性的接触（不明）が4件（12.9%）であった。輸血・血液製剤は0件であり、その他・不明は4件（12.9%）であった（図1）。

報告数の87.1%が性的接触による感染であった。

年齢区分別報告数は、HIV感染者は30歳代が多かったが、エイズ患者は特定の年代による差はなかった。（図2）。

推定感染地域別では国内が21件（67.7%）、国外が4件（12.9%）、不明が6件（19.4%）であった（図3）。

図1 HIV感染者・エイズ患者の推定感染経路別割合

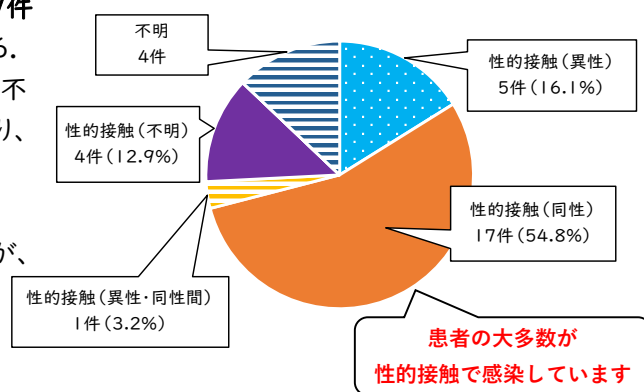


図2 HIV感染者・エイズ患者の年齢区分別報告数

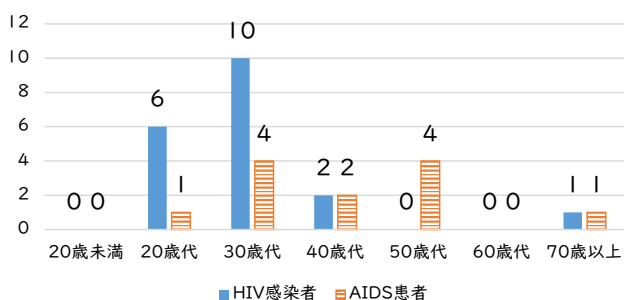
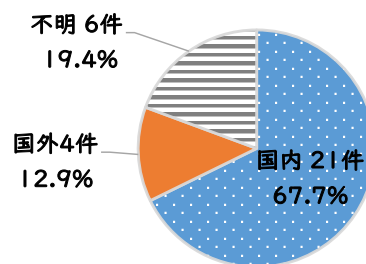


図3 HIV感染者・エイズ患者の感染地域別割合



3 梅毒の状況

2025年に本市に報告された梅毒患者は319件で、うち男性が212件（66.5%）、女性107件（33.5%）であった。

梅毒は近年全国的に報告数が多く、本市でも2016年以降報告の多い状態が続いており、2020年以降は大きく増加していたが、2025年は減少した（図4）。

男女別、年齢別では、男性は20歳代～50歳代で、女性は20歳代で多く報告された。10～20歳代においては、女性が男性を上回っている（図5）。

病型分類別では、有症状での報告は早期顕症梅毒Ⅰ期119件（37.3%）、Ⅱ期98件（30.7%）、晚期顕症梅毒5件（1.6%）、先天梅毒1件（0.3%）であり、無症候も96件（30.1%）の報告がみられた（図6）。



図5 梅毒患者男女別年齢区分別報告数

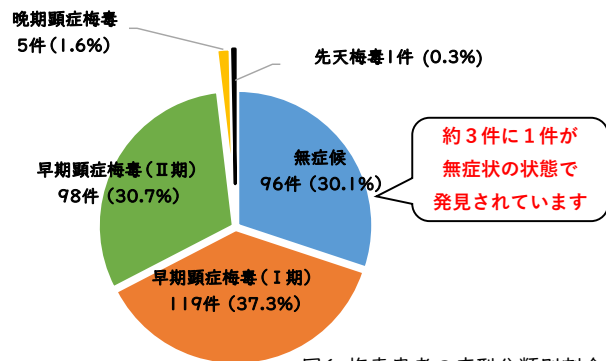
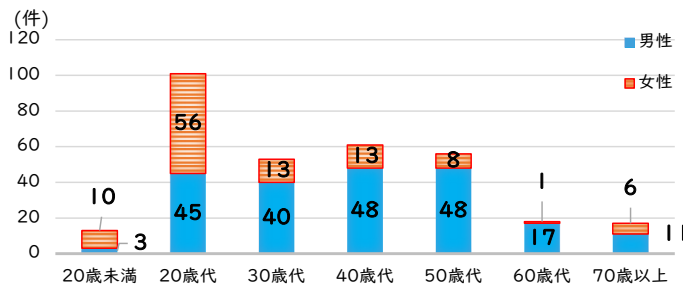


図6 梅毒患者の病型分類別割合